

# 教 育 方 針

## (1) 校 訓

英 知

## (2) 教 育 目 標

- ① 個々の能力を開発し、個性を伸ばし知性豊かな人間を育成する。
- ② 自ら学び自ら考え、問題を解決できる人間を育成する。
- ③ 国際的な視野に立って、自己実現を図る人間を育成する。

## (3) 各部・各学年・各教科努力目標

### ① 教 務 部

- ア 授業重視による学力向上を図る。
- イ 授業力の向上に努める。
- ウ 家庭学習の習慣を身につけさせる。
- エ 教育課程研究の推進を図る。

### ② 生徒指導部

- ア 基本的生活習慣を確立する。
- イ 生徒理解と適切な指導を実践する。
- ウ 生徒の自主的活動の育成を図る。
- エ 家庭、地域との連携強化を図る。

### ③ 進路指導部

- ア 適切な進路意識を育成する。
- イ 学力向上を図り進路指導を充実させる。
- ウ 保護者との連携を強化する。
- エ 進路情報の活用を図る。
- オ 教員の指導力向上を図る。

### ④ 図 書 部

- ア 読書センターとしての読書活動の活性化を図る。
- イ 学習センターとしての資料の充実と提供を推進する。
- ウ 視聴覚教育を推進する。

### ⑤ 厚 生 部

- ア 災害防止の充実を図る。
- イ 健康管理の充実を図る。
- ウ 環境整備の充実を図る。
- エ 購買部運営の充実を図る。

### ⑥ 渉 外 部

- ア P T A・後援会・国際交流後援会の三会の活動の活性化を図る。
- イ 国際交流委員会への協力に努める。
- ウ 同窓会との連携に努める。
- エ 地区高P連と連携する。

### ⑦ 1 学 年

- ア 基本的生活習慣を確立するとともに社会性を涵養する。
- イ 確かな学力を育成する。
- ウ 高い進路意識を醸成する。
- エ 安心して学べる環境づくりに努める。

### ⑧ 2 学 年

- ア 基本的生活習慣を確立するとともに社会性を涵養する。
- イ 確かな学力を育成する。
- ウ 高い進路意識を醸成する。
- エ 安心して学べる環境づくりに努める。

⑨ 3 学 年

- ア 基本的生活習慣の確立と自主性を涵養する。
- イ 進路目標達成のために確かな学力を育成する。
- ウ 進路希望の実現を図る。
- エ 保護者との連携を強化する。

⑩ 各 教 科

【国 語 科】

- ア 完全授業による学力の向上を図る。
- イ 授業力の向上に努める。
- ウ 学習意欲の向上と家庭学習の確立を図る。
- エ キャリア教育の充実を図る。
- オ 進路希望の実現を図る。

【地歴公民科】

- ア 生徒一人一人が、世界の動向と自分の周りの身近な事象に対して深く興味関心を持ち、問題意識に発展させ、解決に向けて取り組むことのできるような公民的資質の育成を目標とする。
- イ 質の高い授業・指導方法を確立するため、教科内での相互評価と省察を継続して行う。
- ウ 生徒一人一人の進路希望の実現を達成するため、基礎学力を定着させる。また、難関大学受験に対応するための応用力を身につけさせる。
- エ 選挙権年齢引き下げに伴う、生徒への政治的教養を高める指導を行う。

【数 学 科】

- ア 自主的な学習態度を育成する。
- イ 基礎学力の充実と学習意欲の向上を図る。
- ウ 進路に応じた個別指導の強化を図る。

【理 科】

- ア 教科内での情報交換を密にし、共通理解を持って組織的な教科指導を行う。
- イ 自然科学に興味・関心が持てるような授業を実践するとともに、科学に対する基本的な見方や考え方を身に付けさせる。STEAM教育の研究を通して理科教育の充実を図る。
- ウ 大学入学共通テストでの得点を向上させるとともに、国公立大学二次試験等、進路に応じた学力と思考力を育てる。また、組織的な進路指導を行い生徒の進路指導・自己実現に貢献する。

【保健体育科】

- ア 健やかな心身の育成を図る。
- イ 個人や集団の健康を適切に管理する資質や能力を育成する。
- ウ 授業内容及び学習環境の充実を図る。

【芸 術 科】

- ア 表現の活動に主体的に取り組み、芸術の諸能力を伸ばし、感性を高める。
- イ 鑑賞の活動を通して作品のよさに触れ、能力を高め、芸術を愛好する心情を育てる。

【英 語 科】

- ア 家庭学習の習慣化と基本事項の定着を図る。
- イ 効果的な指導法を研究し、生徒の学力を高める授業を行うとともに新入試に対応できる学力を養う。
- ウ 資格検定試験の受験を奨励する。
- エ 国際的視野を持った生徒の育成に努める。

【家 庭 科】

- ア 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。
- イ 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

【情 報 科】

- ア コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基本的な知識と技術を習得させる。
- イ 情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。

# 教 職 員

## (1) 歴 代 校 長

| 代    | 氏 名       | 在 任 年 月           | 前 任 校           | 転 出 校             |
|------|-----------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 第1代  | 目 黒 嘉 祐   | 昭和38.4.1～41.3.31  | 南 会 津 高 校 長     | 喜 多 方 女 子 高 校 長   |
| 第2代  | 紺 野 幸 太 郎 | 昭和41.4.1～43.3.31  | 福 島 西 女 子 高 教 頭 | 白 河 女 子 高 校 長     |
| 第3代  | 中 野 正 彦   | 昭和43.4.1～45.3.31  | 理科教育センター研修係長    | 白 河 女 子 高 校 長     |
| 第4代  | 山 浦 実     | 昭和45.4.1～48.3.31  | 梁 川 高 校 長       | 休 職               |
| 第5代  | 遠 藤 典 夫   | 昭和48.4.1～51.3.31  | 只 見 高 校 長       | 退 職               |
| 第6代  | 樫 村 五 郎   | 昭和51.4.1～53.3.31  | 高校教育課相双駐在管理主事   | 高 等 学 校 教 育 課 主 幹 |
| 第7代  | 田 崎 宗 寿   | 昭和53.4.1～55.3.31  | 福 島 北 高 教 頭     | 高 等 学 校 教 育 課 主 幹 |
| 第8代  | 松 田 友 吉   | 昭和55.4.1～57.3.31  | 高校教育課県北駐在管理主事   | 福 島 西 女 子 高 校 長   |
| 第9代  | 中 妻 昇     | 昭和57.4.1～59.3.31  | 長 沼 高 校 長       | 退 職               |
| 第10代 | 山 内 和 子   | 昭和59.4.1～61.3.31  | 富 岡 高 校 長       | 退 職               |
| 第11代 | 岩 本 堅 一   | 昭和61.4.1～63.3.31  | 遠 野 高 校 長       | 退 職               |
| 第12代 | 松 浦 淳 一   | 昭和63.4.1～平成2.3.31 | 県養護教育センター所長     | 福 島 南 高 校 長       |
| 第13代 | 佐 藤 正     | 平成 2.4.1～ 5.3.31  | 東 白 川 農 商 高 校 長 | 退 職               |
| 第14代 | 根 本 正 紀   | 平成 5.4.1～10.3.31  | 高校教育課会津駐在管理主事   | 会 津 高 校 長         |
| 第15代 | 遠 藤 算 彦   | 平成10.4.1～13.3.31  | 会 津 養 護 学 校 長   | 退 職               |
| 第16代 | 我 妻 由 規   | 平成13.4.1～15.3.31  | 四 倉 高 校 長       | 退 職               |
| 第17代 | 遠 藤 宏 之   | 平成15.4.1～17.3.31  | 教育振興課管理主事       | 相 馬 高 校 長         |
| 第18代 | 佐 藤 吉 男   | 平成17.4.1～19.3.31  | 橘 高 教 頭         | 福 島 西 高 校 長       |
| 第19代 | 佐 藤 馨     | 平成19.4.1～21.3.31  | 教育振興領域県北駐在管理主事  | 県 中 教 育 事 務 所 長   |
| 第20代 | 志 賀 一 成   | 平成21.4.1～23.7.31  | 耶 麻 農 業 高 校 長   | 退 職               |
| 第21代 | 吉 田 啓 一 郎 | 平成23.8.1～26.3.31  | 県教育庁学習指導課主幹     | 福 島 西 高 校 長       |
| 第22代 | 五 輪 美 智 子 | 平成26.4.1～28.3.31  | 小 名 浜 高 校 長     | 退 職               |
| 第23代 | 末 永 仁     | 平成28.4.1～31.3.31  | 鏡 石 中 学 校 長     | 退 職               |
| 第24代 | 井 関 和 明   | 平成31.4.1～令和3.3.31 | 福 島 西 高 校 長     | 退 職               |
| 第25代 | 橋 本 忠 広   | 令和 3.4.1～         | 南 会 津 高 校 長     |                   |

## (2) 教 職 員 数

| 項<br>男女別 | 校<br>長 | 教<br>頭 | 教<br>諭 | 養教<br>護諭 | 実教<br>習諭 | 実講<br>習師 | 講<br>師 等 | 事職<br>務員 | 主校<br>任司<br>学書 | 主用<br>務任<br>員 | 校<br>務 員 | 学<br>校 医 | 学<br>歯 科<br>校 医 | 学<br>薬 剤<br>校 師 | P職<br>T A 員 | 計   |
|----------|--------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------------|---------------|----------|----------|-----------------|-----------------|-------------|-----|
| 男        | 1      | 1      | 2 4    |          |          |          | 3        | 1        |                | 1             |          | 1        | 1               | 1               |             | 3 4 |
| 女        |        |        | 1 9    | 1        | 2        |          |          | 2        | 1              |               | 1        |          |                 |                 | 1           | 2 7 |
| 計        | 1      | 1      | 4 3    | 1        | 2        |          | 3        | 3        | 1              | 1             | 1        | 1        | 1               | 1               | 1           | 6 1 |